

【問】野口市政の2期目がスタートしたが、わが国の景気の動向は、悪くなるばかりであり、先行きは、またたく不透明な状況である。このようない社会情勢のなかで、本市の活性化を図るために、市政運営をどうすべきか聞きたい。

【答】岸和田が元気になるためには、市民が安心して暮らせること、事業者が活動に活動できることが大切と考える。そのためにも、より一層簡素で効率的な市政運営を行い、創造的なまちづくりプランの実現に、新規組んでいきたい。

【問】福祉総合センター敷地利用について、市は敷地の一部を売却し、残りの部分を借地とし、新しい福祉施設を一体的に整備する総合センターと民間施設を分離するとしている。このようない社会情勢のなかで、本市の活性化を図るために、市政運営をどうすべきか聞きたい。

【答】現在の敷地は、面積的にも

建替えが待たれる福祉総合センター

【問】野口市政の2期目が

【問】福祉総合センター敷

【問】福祉総合センター敷

【問】福祉総合センター敷

【問】福祉総合センター敷

【問】福祉総合センター敷

【問】福祉総合センター敷

【問】福祉総合センター敷

本市活性化に向けた かじ取りは

山田 幸夫 議員

問題ではなく、各交通の結節点であり、だれもが訪れやすく、民間活力の導入も可能な土地である。

市としては、福祉総合セ

ンターを現在の場所で建

替える構想であるが、種々の事情をくみ取り、重ねて政策推進戦略会議で検討していく。

この視察は全国の先進的な事例について調査し、市政に反映させるため行うものです。概要についてご報告します。

(※注)委員会は通常、議会開会中のみ活動できます。

各常任委員会 先進都市視察を実施

各常任委員会では、平成21年第3回定例会で議決した特定事件(※注)について、先進都市視察を実施しました。

この視察は通常、議会開会中のみ活動できます。例外として議会で議決すれば、特定の具体的な事項については、議会閉会中も調査することができます。



家庭ができるゴミ減量化

現状と課題は

その他の質問
○窓口業務の対応

雪本 清浩 議員

この方法による現状の削減効果と今後の課題について聞きました。

【答】20年度末でコンポストトは約2千3百個、EMバ

ケツは3千個以上を貸し出しており、一世帯から一週間に生ごみが3kgと仮定すると、一年間にそれぞれ約358t、約253tの減量

肥料を購入せず

に済む。焼却しないので二酸化

ケツは3千個以上を貸し出しており、一世帯から一週間に生ごみが3kgと仮定すると、一年間にそれぞれ約358t、約253tの減量